

○ 全国と比較して、5.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(33)	地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	27.8	22.1	5.7

○ 全国と比較して、3.0ポイントより上回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(22)	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか	「できている」と回答した生徒の割合	31.5	27.4	4.1
(50)	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	32.7	28.7	4.0
(64)	1、2年生のときに受けた授業では、数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できましたか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	29.1	25.5	3.6

○ 全国と比較して、3.0ポイントより下回る設問

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(6)	学校の勉強のことについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたと話しますか	「ほぼ毎日」「週に1～2回」と回答した生徒の割合	67.5	72.2	-4.7
(21)	普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	「よくある」と回答した生徒の割合	42.6	46.1	-3.5
(23)	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した生徒の割合	57.4	61.6	-4.2
(56)	1、2年生のときに受けた授業では、国語の授業で、先生は、あなたの良いところや、前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれましたか	「よくある」と回答した生徒の割合	20.7	25.5	-4.8
(69)	英語の勉強は得意ですか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	12.7	17.5	-4.8
(70)	英語の勉強は好きですか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	21.6	24.6	-3.0
(74)	キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書くことができますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	37.4	40.7	-3.3
(75)	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にありましたか（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビや動画、ホームページを見る、オンラインで他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど）	「当てはまる」と回答した生徒の割合	13.1	16.2	-3.1

○ 全国と比較して、5.0ポイントより下回る設問（主な設問）

質問番号	質問事項	比較基準	今治市	全国	全国との差
(25)	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）	「1時間以上」と回答した生徒の割合	41.8	52.5	-10.7
(35)	1、2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか	「ほぼ毎日」と回答した生徒の割合	42.0	55.1	-13.1
(36-4)	あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか	「そう思う」と回答した生徒の割合	41.1	46.4	-5.3
(72)	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	54.0	60.2	-6.2
(73)	将来、積極的に英語を使うような生活をしたリ職業に就いたりしたいですか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	27.8	34.1	-6.3
(78)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていましたか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	35.4	42.3	-6.9
(79)	1、2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていましたか	「当てはまる」と回答した生徒の割合	29.6	37.6	-8.0
(80)	1、2年生のときに受けた授業では、キーボード（画面上に表示されるキーボードやフリック入力も含む）を使って英語を書く活動をどれくらい行いましたか	「よく行った」と回答した生徒の割合	10.5	17.0	-6.5
(国2)	解答時間は十分でしたか(国語)	「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した生徒の割合	58.4	75.7	-17.3
(数2)	解答時間は十分でしたか(数学)	「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答した生徒の割合	81.7	87.8	-6.1

○ 考察と今後の方向性について

設問 番号	考察と今後の方向性
(33)	「地域・社会への参画意欲」 「地域や社会をよくするために何かしてみたい (+5.7pt / +3.7pt)」が全国を大きく上回り、社会的思考や地域貢献への意欲の高さがうかがえます。要因の1つとして、ふるさとキャリア教育等で体験的な学習を重ねるとともに、市長提案などの主体的な活動を通して意識が高まったと考えられます。地域課題と各教科の学びを融合させ、英語の「地域魅力を発信する言語活動」やICTを活用したプレゼンテーションの機会を意図的に設定します。
(22) (64)	「主体的な学びの工夫」 「分からないことがあったときに自分で学び方を工夫する (+3.1pt~4.1pt)」、「数学で学んだことを生活の中で活用できた (+3.6pt)」など、能動的に課題を解決しようとする姿勢や実生活への着眼が見られます。
(69) (70) (72) (73) (74) (75)	「英語指導の充実」 授業での「英語での問答・意見交流 (-6.9pt)」や「英語で書いてまとめる・考えを書く (-8.0pt)」、「ICTを使った英作文活動 (-6.5pt)」などの実践的活動が低い割合です。これに伴い「英語が得意 (-4.8pt)」、「好き (-3.0pt)」、「将来役立つ (-6.2pt)」、「将来積極的に使いたい (-6.3pt)」といった意識の変革が必要です。単なる知識暗記にとどまらず、生徒同士で意見を伝え合う「対話・表現活動」や「ICTを活用した英作文・まとめ活動」を日常的に取り入れ、実生活や将来に結び付く英語力の育成を目指します。また、今年度より増員したALTと対話する機会が増えたことで、「英語が楽しい」「英語を積極的に活用したい」という意欲を持つ生徒を増やしたいと考えています。
(56) (国2) (数2)	「処理能力・定着度の向上」 教員からの個別の評価・フィードバックが不足していることが、生徒の実践的スキルや教科への自信（特に英語や国語・数学の処理速度・読解力）の伸び悩みを起していると考えられます。また、テストの解答時間が「十分であった（余った・ちょうどよかった）」割合が、国語で-17.3pt、数学で-6.1ptと大幅に下回っており、長文読解や思考・処理のスピード、定着度に関する課題が強く示唆されます。生徒の努力や成長の軌跡を具体的に認める指導（「できている点」「改善点」の明確な示唆）を意識的に行い、生徒の自己有用感や学習への意欲・安心感を高めます。
(6) (23) (24)	「家庭学習習慣と家庭内コミュニケーション」 「休日の学習時間1時間以上 (-10.7pt)」や「平日の学習時間1時間以上 (-4.2pt)」、「家族と勉強について話す (-4.7pt)」がいずれもを下回っており、自律的学習の「意識」はあるものの家庭での「習慣・時間」に結び付いていません。地域・社会貢献意欲の高さを強みとして生かしつつ、休日や平日の計画的な家庭学習の進め方について学校と家庭が連携して指導・啓発を行います。また、保護者に向けて学校での学びについて対話するきっかけづくりを働き掛けます。

※ 設問については一部掲載しています。